資料３

通り名・位置番号方式による道案内システム

【施策の概要】

日本の住所表示は「街区方式」であるため、欧米の「道路方式」と比較して、観光客や外国人など地域に不慣れな人にわかりやすく案内をすることが難しい状況であるため、通り名と位置番号を組み合わせた「通り名・位置番号方式」を試験的に実施することにより、その実施効果・合意形成・効率的な案内方法などの課題を検証します。

【ねらい】

通り名と位置番号を使って、案内したい場所をうまく特定できるルールを作り、地域に不慣れな人に対して分かりやすく道案内ができるようにすること。

○　場所を特定するルール（通り名・位置番号方式）

- 通りに名称を付ける。
- 通りの起点から 10m 単位の概ねの距離を位置番号とし、起点を背に右側に奇数番号、左側に偶数番号を表示する。

【実験概要】

福島県会津若松市：道路を活かした人に優しく、魅力的観光都市づくり検証社会実験

会津若松市において、通り名を記した標識の設置やマップによる道案内を実施するとともに、トランジットモールや歩行者の安全性確保のための道路空間再配分を試行し、周囲への影響や安全性の検証を行う。

【実験予定時期：平成19年9月～11月頃】

【実施主体】道路を活かした人に優しく、魅力的観光都市づくり検証実験実行委員会

【取組みイメージ】

通り名マップ、通り名で道案内、現地標示　の３点セットで分かりやすく道案内

